

レジメンスケジュール

診療科	消化器外科
適応	切除不能 進行・再発大腸癌
レジメン	大腸CAPIRI療法

申請・改訂日	2020年6月
備考	

クール関連	
-------	--

使用した臨床データ	
がん化学療法レジメンハンドブック	

全クール																					
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day21		
①		デキサメタゾン注	9.9mg	メイン	15分		○														
①		グラニセロン注	3mg				○														
①		生理食塩液	50mL				○														
②	○	イリノテカン 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 500mL	メイン	90分	遺伝子多型に注意	○														
③		生理食塩液	50mL	メイン	全開		○														
④	○	カベシタピン	1600mg/m ² /day	内服	1日2回朝夕		day1-14後休業(2投1休)														
			E法(800mg/m ² /回) 体表面積2.07m ² 以上:3600mg/day 体表面積1.69~2.07m ² :3000mg/day 体表面積1.31~1.69m ² :2400mg/day 体表面積1.31未満:1800mg/day																		

カベシタピン(E法)

体表面積	1回用量		
	初回投与量	減量段階1	減量段階2
1.26 m ² 未満	900 mg (3錠)	600 mg (2錠)	600 mg (2錠)
1.26 m ² 以上 1.31 m ² 未満		900 mg (3錠)	
1.31 m ² 以上 1.69 m ² 未満	1,200 mg (4錠)		
1.69 m ² 以上 1.76 m ² 未満	1,500 mg (5錠)		
1.76 m ² 以上 1.88 m ² 未満	1,800 mg (6錠)	1,200 mg (4錠)	900 mg (3錠)
1.88 m ² 以上 2.07 m ² 未満		1,500 mg (5錠)	
2.07 m ² 以上 2.26 m ² 未満			
2.26 m ² 以上			

減量・中止基準

イリノテカン、カペシタビン両薬剤

副作用	程度	薬剤
白血球減少	3000/mm ³ 未満または急激な減少傾向があるなど骨髄抑制が疑われるとき	イリノテカン投与を中止または延期
好中球減少	G3以上または2週間以上持続するG2	1段階減量
血小板減少	G3以上または2週間以上持続するG2	1段階減量
	100000/mm ³ 未満または急激な減少傾向があるなど骨髄抑制が疑われるとき	イリノテカン投与を中止または延期
下痢、口腔粘膜炎	2週間以上持続するG2	1段階減量
手足症候群	G2以上	カペシタビンのみ1段階減量
その他の非血液毒性	G3以上または2週間以上持続するG2	1段階減量
腎障害	中等度の腎障害 (Ccrが30~50mL/min)	カペシタビン1段階減量
	重篤な腎障害 (Ccrが30未満mL/min)	カペシタビン投与中止